

上部消化管内視鏡検査に関する意思確認書

医療連携用

(原本 →三宿病院 医療連携室へ 写し →患者様へ)

説明日 _____年____月____日

三宿病院 院長 殿

患者 _____様 に対する診療行為について、以下の項目を説明しました。

患者生年月日 _____

医療機関名 _____ 医師名 _____

説明者名 _____ 職種： _____

説明項目

1. 病名 _____

2. 実施する診療行為 上部消化管内視鏡検査

3. 実施希望日 ① _____年____月____日

② _____年____月____日

4. 交付した説明書類：上部消化管内視鏡検査をお受けになる方へ(全3ページ)

5. 本診療行為の必要性(説明書 1 ページ)

6. 推奨する診療行為の内容・効果(説明書 1 ページ)

7. 予想される危険性(合併症、既往症に伴うリスク等)(説明書 1,2 ページ)

8. 実施後の一般的経過(予測される日常生活への影響や予後など)と起こりうる障害

(説明書 2 ページ)

9. 通常は発生しないが重大な傷害や死亡の危険性もあり得ること(説明書 2 ページ)

10 要望・質問が可能なこと(説明書 2 ページ)

11 この件についての問い合わせ先(説明書 2 ページ)

私は、上記説明を受け、質問、要望の機会も与えられ、内容について理解しました。

私は、説明された診療行為について以下の様に決定しました。(説明を受けた者が□にチェックを入れる)

受けます 受けません 今は判断できません(判断保留)

_____年____月____日

患者署名 (自署) _____

緊急時を除き、未成年者の場合には親権者、本人が署名できない場合は意思決定を代行できる代理人が署名して下さい。

代理人署名 (続柄： _____) _____

連絡先 電話番号： _____

↓
代理人は、親・配偶者・子・同居の親族とし、それ以外の親族や知人などに拡大解釈することはできない。

1. 検査の目的・必要性・効果

上部消化管内視鏡検査は、鼻または口から挿入した内視鏡で食道・胃・十二指腸の中を直接観察し、病気の有無と性質を診断する検査です。

2. 検査が必要な理由

症状や他の検査結果から、あなたの上部消化管には病気がある可能性がありますので、精密検査が必要です。

3. 検査の方法

1) 検査前の準備

- ① 検査当日は胃の中を空にしておく必要があります。食事の摂り方や常用薬の服用方法については予約表をご覧ください。
- ② 血液をさらさらにするお薬（抗血栓薬）を服薬されている方は、特別な処置を行わない通常の内視鏡検査（観察、組織検査）では、担当医から指示が無い限り、抗血栓薬を休薬する必要はありません。ただし、組織検査を行うと出血する可能性はあるので、内視鏡検査医が必要性を判断し、組織検査の後に出血が起こった場合には適切に対応します。

2) 検査直前に行うこと

- ① 胃の表面の粘液を洗い流すシロップ（ガスコン、重曹、ガスチーム）を服用します。
- ② 内視鏡が通過する鼻腔やのどに表面麻酔（キシロカイン）を通し、麻酔を行います。
- ③ 消化管の動きを抑える薬：ミンクリアを胃内散布、またはブスコパン、またはグルカゴンを筋肉内あるいは静脈内に注射する場合があります。

3) 検査中に行う可能性のあること

- ① 病気が見つかったら粘膜組織の一部を採取し（生検）、組織検査を行うことがあります。生検後に出血が見られた場合には、内視鏡を使って出血を止める処置を行うことがあります。
- ② 病気に特別な色素を散布し、病気をより明瞭にして診断の助けとする場合があります。用いる色素は安全なものです。

4. 検査による合併症・実施後の身体障害の程度

その主なものは次の通りですが、3) 以下はいずれも稀です。

1. 生検による出血、嘔吐反射による食道や胃粘膜裂創からの出血。
2. 経鼻から挿入した場合は、鼻出血や鼻痛、耳痛。
3. のどの麻酔薬（キシロカイン）によるによるショック（0.001%未満）。
4. 消化管の動きを抑える薬（ブスコパン）によるショック（0.001%未満）。
5. 消化管の動きを抑える薬（グルカゴン）による低血糖（0.1%未満）。
6. 内視鏡操作によって消化管の壁に穴が開く（穿孔）（0.01%未満）。
7. 心臓・肺・脳への負担。

以上のことから極めて稀ですが、上部消化管内視鏡によって死亡したり、重度の後遺症を残したりする可能性を否定できません。死亡頻度は0.00045%(220,000 件に1人)です。

検査中・検査前後に異常を感じましたら、直ちに、お知らせ下さい。万が一、合併症が発生した場合には手術を含めて最善の処置を行います。

5. この検査に替わり得る別の手段：バリウムを飲んで行うレントゲン検査（胃透視）。

内視鏡検査のメリット

- 1) レントゲン検査よりも精密な検査ができます。
- 2) 生検を併用することによって、より診断を確かにすることができます。

内視鏡検査のデメリット

- 1) 検査自体の苦痛がレントゲン検査よりも強い場合があります（当院は苦痛をできるだけ少なくするため、経鼻内視鏡を導入しております）。
- 2) レントゲン検査よりも合併症が多い。

6. 検査を実施しない場合に起こること

病気の正確な診断が出来なくなりなり、適切な治療もできなくなります。癌などの悪性の病気を患っている場合には、それだけ、病気が進行してしまうこととなります。

7. 検査後の一般的な経過

- 1) 検査終了後はのどの麻酔が効いていますのでむせやすくなっています。のどの麻酔は30～60分でさめます。食事はむせないことを確認し始めて下さい。経鼻内視鏡を受けた方は鼻出血することもあります。検査中に空気を入れたためにお腹が張ったりするかもしれません。いずれも自然におさまる場合がほとんどです。
- 2) 発熱、嚥下時の痛み、胸の痛み、強い嘔気・嘔吐、腹痛、吐血・下血などの症状がみられた場合には主治医あるいは当院内視鏡室までご連絡下さい。

8. その他

- 1) 当院では内視鏡を担当する医師は全員、日本消化器内視鏡学会認定の内視鏡専門医です。それでも、上記の合併症を絶対に避けることはできません。また、稀なことでありますが、病変の見落としも起こりえます。
- 2) 内視鏡写真や生検標本を医学教育や学会発表などに使用させて頂く場合もあります。その場合、プライバシーは厳重に守られ、患者さんのことが特定されることは絶対にありません。

安全で確実な内視鏡検査を行えるように、以上のことをご理解の上、検査を受診するか否かをお決め下さい。同意された場合でも、いつでも検査を中止できます。疑問が解決されない場合は、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことをお勧めします。

なお、疑問な点がございましたら、担当医あるいは内視鏡室までお申し出下さい。

三宿病院内視鏡室 03-3711-5771 内線 256/255

抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）を内服中の方へ

従来、抗血栓薬を内服している方は休薬した上で内視鏡検査をお受け頂く場合がありましたが、内視鏡検査時の抗血栓薬の休薬に関するガイドラインが改められ、なるべく休薬せずに内視鏡検査を行う事が基本となりました。休薬することで身体に重大な障害を残すリスクをできるだけ低下させようという主旨からです。観察や組織検査だけの内視鏡では、担当医から特別な指示が無い限り、休薬せずに検査を受けていただくようお願いいたします。ただし、組織検査によって出血が起こりそうな病変が発見された場合には、内視鏡医の判断によっては、抗血栓薬を休薬した上で組織検査のための内視鏡検査を改めてお願いする場合があります。

また、組織検査を行い出血が止まらない場合には、入院をお願いすることもあります。ご不明な点がございましたらスタッフにお尋ね下さい。

三宿病院 内視鏡室

経鼻内視鏡検査予診票

●検査当日までにご記入お願いいたします。

1. 胃カメラは初めて検査されますか。(はい ・ いいえ)
2. 鼻からの内視鏡検査は初めてですか。(はい ・ いいえ)
3. 今、鼻づまりはありますか。(はい ・ いいえ)
4. 鼻の病気はありますか。該当するものに○をつけてください。

鼻炎 ・ 鼻中隔湾曲症 ・ 副鼻腔炎 ・ その他 ()

5. 鼻の手術を受けたことがありますか。(美容整形を含む) (はい ・ いいえ)

6. 現在、服用中の薬にチェックをお願い致します。

抗凝固剤 降圧剤 心臓の薬 胃薬 糖尿病の薬 その他
()

7. 下記で、該当するものにチェックをお願い致します。

- 薬品でアレルギー反応を起こしたことがある。
- 狭心症、心筋梗塞で治療中である。
- 胃潰瘍、十二指腸潰瘍で内服治療中である。
- 喘息がある。
- 脳梗塞になったことがある。
- 腎臓病で透析中である。
- 妊娠中である。(可能性がある)
- 授乳中である。
- 緑内障で治療中である。
- 前立腺肥大症で治療中である。

8. 抗血栓薬を内服中の方にお尋ねします。組織検査を行った場合は出血が多いと止血処置が必要となり、入院をお願いする場合があります。

本日の組織検査は (行ってもいい 後日に相談してやりたい)

9. ピロリ菌が胃粘膜に感染していると胃癌発症のリスクが高くなることが知られています。

内視鏡所見からピロリ菌感染が疑われる場合、組織を採取しピロリ菌感染の有無を判定する検査
(迅速ウレアーゼ試験、結果は60分程度で出ます)を

希望する 希望しない

その他ご心配なことお尋ねになりたいことなどありましたらお書き下さい。



予約票

予約デスク 03-5720-7423

経鼻・上部内視鏡検査

ID:

様

予約日

時間

①来院の際は「初診・再診 ③番」の窓口へお越してください。

②受付窓口 診療館3階 内視鏡 受付 へお越してください。

●検査前日 夜9時以降は、食べたりしないで下さい。

(入眠前までのお薬は、内服して頂いて結構です。)

●検査当日 受付に予約票、同意書、内服中のお薬がわかるもの(お薬手帳など)をご提出ください。

また、血液をサラサラにする薬(抗凝固剤、ワーファリン、バイアスピリンなど)を内服中の方は、必ず、事前に申し出てください。

検査1時間前までは500ml位の水分はとって構いません。

食事は検査終了までお控え下さい。

血圧、心臓の薬、安定剤を内服されている方は、朝6時頃までに服用して下さい。

●検査終了後の注意事項

*喉のしびれがとれるまで、飲んだり、食べたりしないで下さい。

時間が過ぎましたら、少量の水分を飲みむせの無い事を確認してから飲食して下さい。

- ・検査後3~4時間は、鼻水が増えることがありますが、強く鼻をかまないようにしてください。
- ・胃の組織検査をされた方は、結果が出るまでに約1週間かかります。

●ご予約の診療が終了した方のお会計は、1階外来⑧番の会計窓口になります。(来院時、ご使用いただくクリアファイルも⑧番窓口にお返しください。)

●予約等に関するお問い合わせ



国家公務員共済組合連合会

三宿病院

予約担当デスク TEL 03-5720-7423

〒153-0051

TEL:03-3711-5771 (代表)

※患者ID番号・予約票等をご用意の上、ご連絡ください。

東京都目黒区上目黒5-33-12

FAX:03-3792-1682 (FAX)

三宿病院ホームページ <http://www.mishuku.gr.jp>